

第8号 稲作防除特報 (中生・晩生版)

令和6年7月16日
朝日町
黒東地域農業技術者協議会

～斑点米カメムシ類に注意し、被害防止に努めましょう～

みな穂農協管内の雑草地(20か所)で、すくい取り調査したところ、斑点米の要因となるカメムシ類の発生は過去10年で最も多くなっています。

収量や品質低下につながる斑点米カメムシ類や紋枯病、いもち病などの基本防除を徹底し、被害の発生防止を図りましょう。

「コシヒカリ」「ミルキーQueen」など中生品種 及び「てんこもり」など晩生品種の基本防除 (10a当たり散布量)

防除時期	1回目 (走り穂)		2回目 (穂揃期)	
	中生	7月31日(水)～8月2日(金)		8月8日(木)～8月10日(土)
晩生	8月3日(土)～8月5日(月)		8月11日(日)～8月13日(火)	
粉剤体系	ブラシントレバリダ粉剤DL (いもち病、紋枯病、カメムシ類、ウンカ類)		ラブサイドキラップ粉剤DL※ (いもち病、カメムシ類、ウンカ類)	
	4kg		4kg	
液剤体系	乗用管理機等	スタークル液剤10+モンカットフロアブル (紋枯病、カメムシ類、ウンカ類)	ラブサイドK2フロアブル※ (いもち病、カメムシ類)	
		1000倍/100ℓ (薬量100ml/10a + 薬量100ml/10a)	1000倍/100ℓ (薬量100ml/10a)	
ドローン		スタークル液剤10+モンカットフロアブル (紋枯病、カメムシ類、ウンカ類)	ラブサイドK2フロアブル※ (いもち病、カメムシ類)	
		8倍/0.8ℓ (薬量100ml/10a + 薬量100ml/10a)	8倍/0.8ℓ (薬量100ml/10a)	

※収穫14日前まで

※防除効果を高めるため、散布の間隔は1週間を目安(10日以上あけない)としましょう。

また、防除の際は、畦畔を含む水田全体に薬剤がかかるように散布しましょう。

※無人ヘリコプターの散布予定時期は、折込みチラシなどで別途ご案内します。

○薬剤散布時の留意点

- ・1回目の防除は、落水し、株元に薬剤がかかるように散布しましょう。
- ・使用基準を厳守し、周辺作物への農薬飛散防止に努めましょう。
また、露のあるときや稲の開花中の散布は避けてください。
- ・ほ場ごとに収穫の状況に合わせて散布してください。

◎熱中症を予防しよう!

- ・作業はできるだけ複数で行い、時間を決めて体調確認を行いましょう。



帽子や空調服
などの活用

こまめな
水分・塩分補給